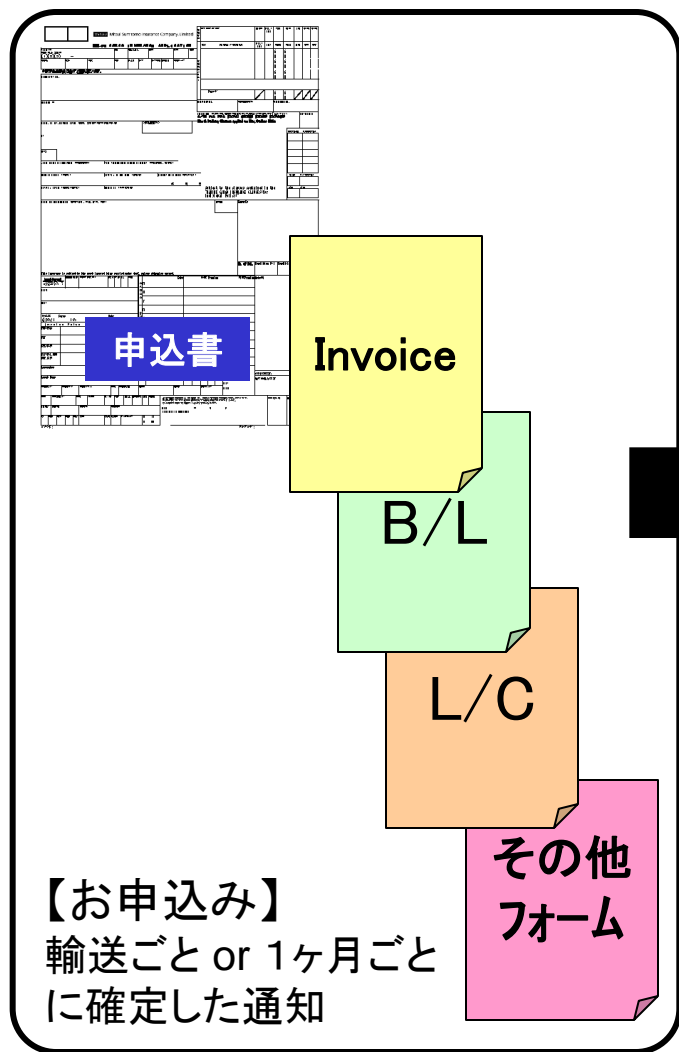


外航貨物海上保険 証券類発券の現状

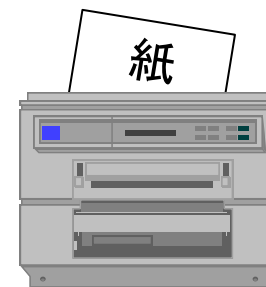
2012年11月21日

(社)日本損害保険協会
三井住友海上火災保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

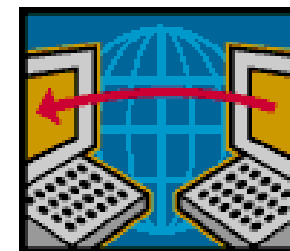
1. お申込み(通知)方法



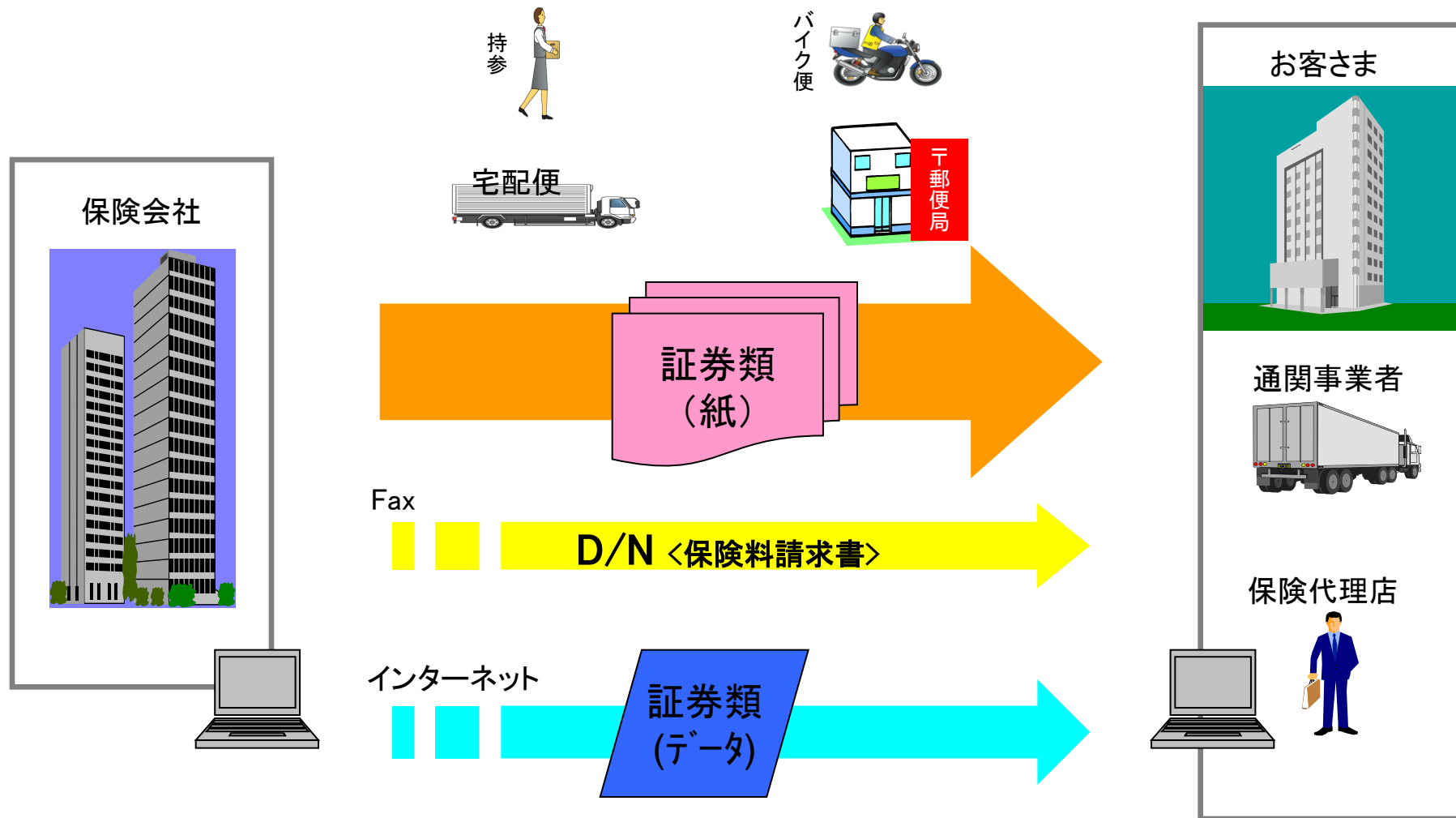
- FAX
- 郵送
- e-mail



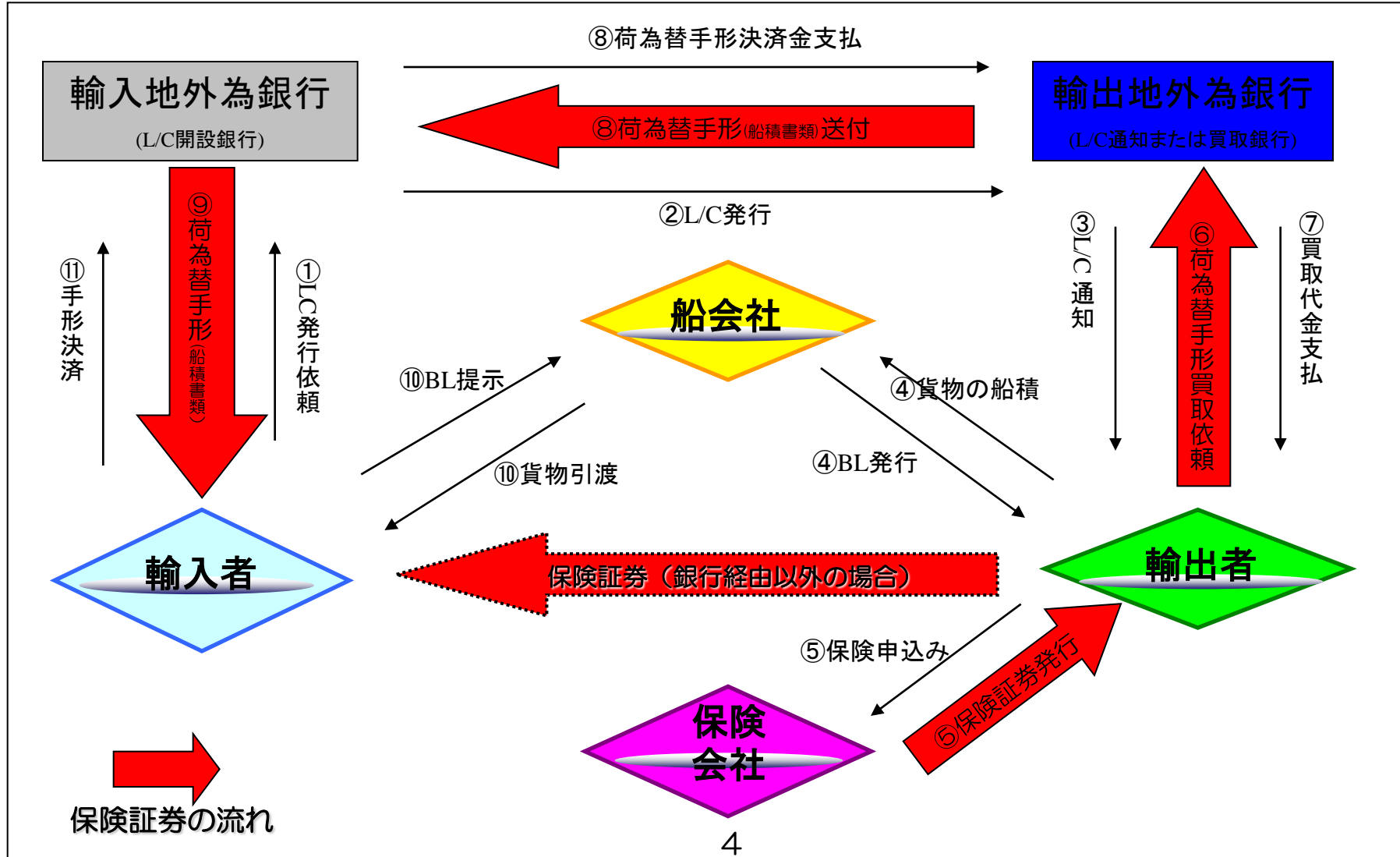
-
- EDI (特定のお客さまとの電子データ交換)
 - インターネット
申込み



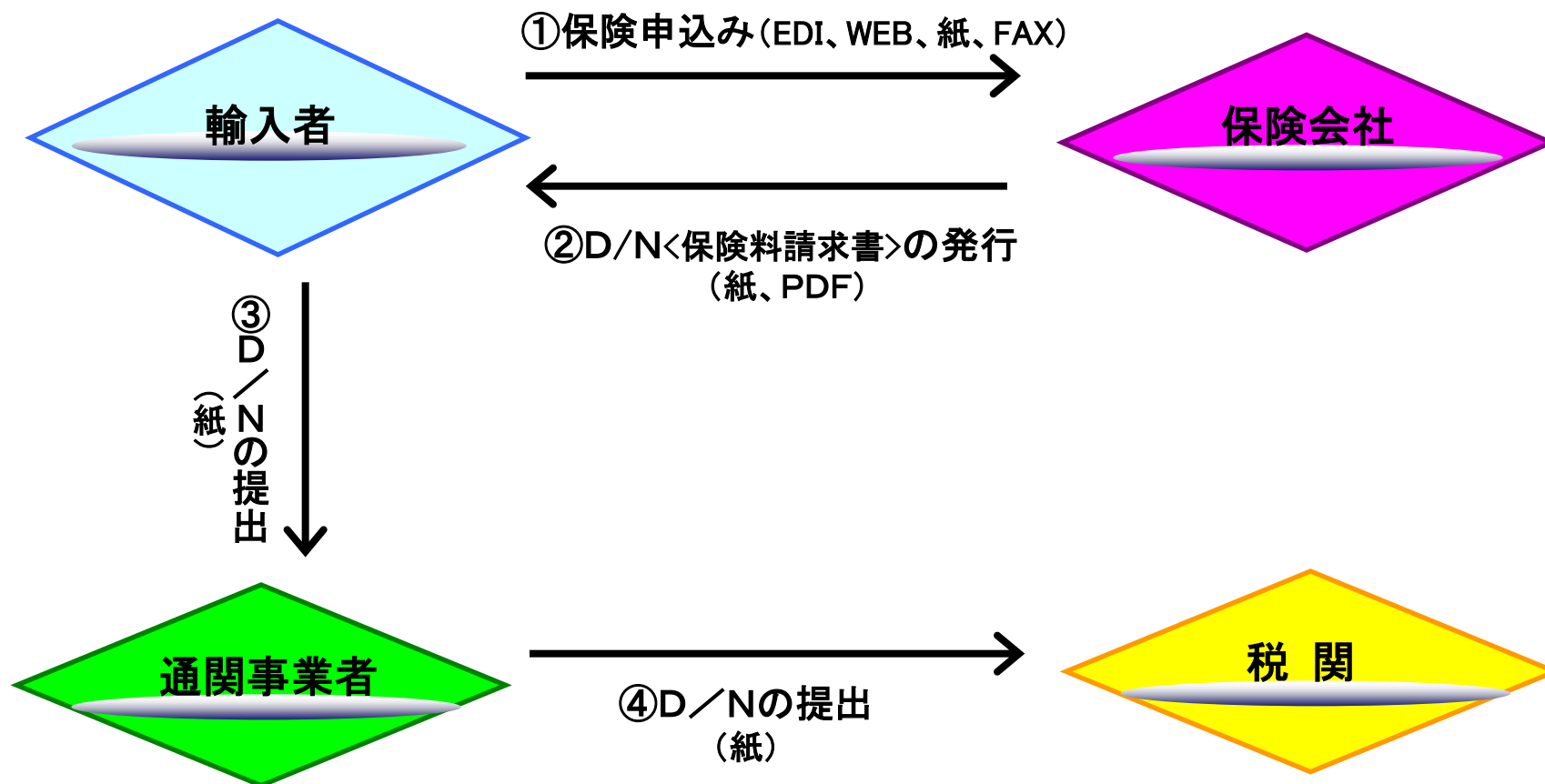
2. 証券類の送付方法



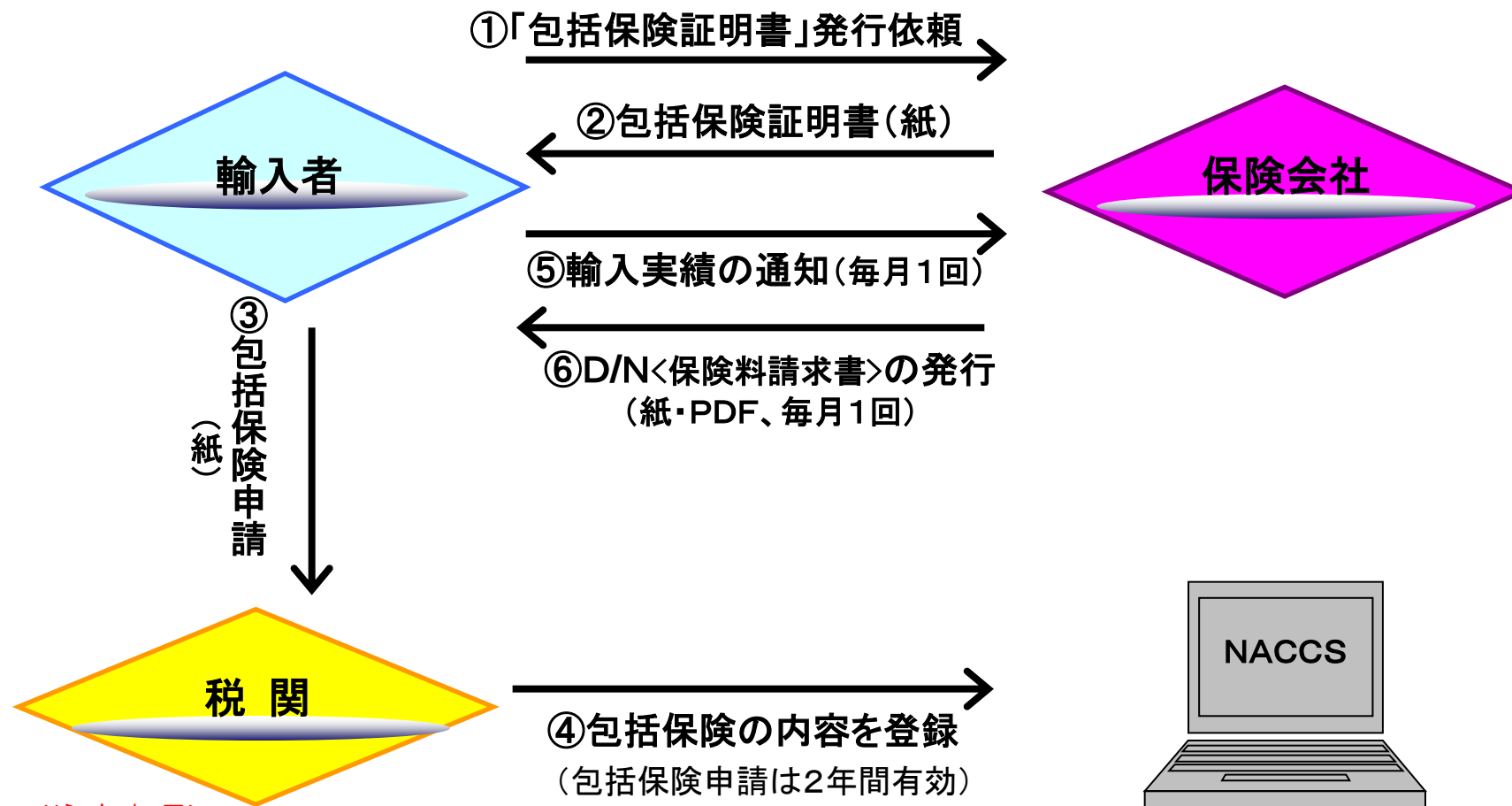
3. 証券類の流れ (1)輸出(L/Cの場合)



3. 証券類の流れ (2)輸入(個別保険)



3. 証券類の流れ (3)輸入(包括保険)

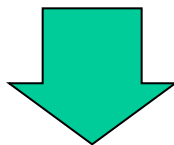


<注意事項>

今回の資料は、一般的な保険申込み・証券類発行を前提に作成させて頂いており、全てのケースが当てはまるわけではありません。

4. 貨物保険にかかわる電子化の検討経緯

損害保険業界では、TEDIやBoleroプロジェクトの参加などを通じて対応準備を進めてきたが、貿易金融EDIは参加当事者数が多い上、多国籍間に渡っているため、統一的、標準的な規格が全世界的に幅広く利用される段階までには至っていない。



現在、外航貨物海上保険のお申込み、証券類入手といった事務手続きは、各保険会社にて、インターネットをはじめとしたデータ伝送によるペーパーレスの仕組みを導入する等、荷主やフォワーダーといったお客様や保険代理店の利便性向上、効率化を進めている。

一方で、貿易業務・通関業務の効率化の観点から、輸出入通関・港湾諸手続きにおいて電子化やシングルウィンドウ化、通関を起点とした官民のデータ連携の検討が進められる中で、NACCSシステムとのデータ連携による利便性向上について実現可否も含め検討していきたい。